

日商簿記検定講座 3級コース
第2回 添削問題

(住所) _____
(氏名) _____ 様
受講生番号 _____

問題用紙は送付の必要が
ありません。

添削講師名 _____ 採点欄
受付 _____ 日
返送 年 月 日

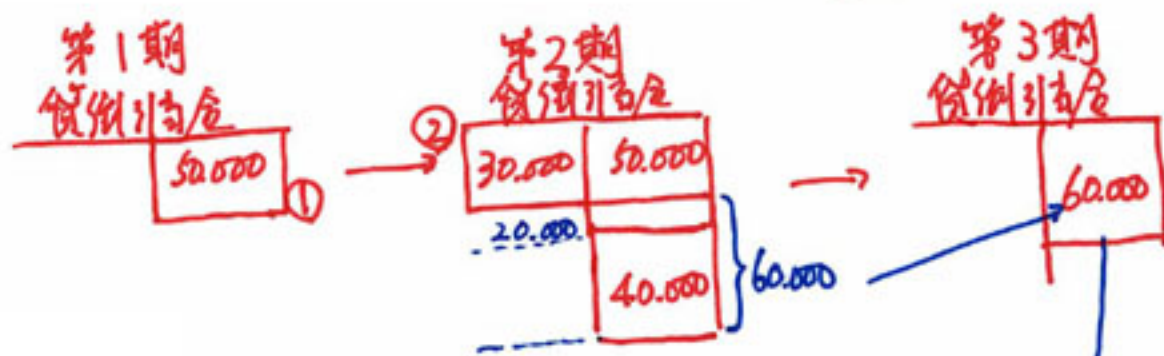
94

お返しました

(09.05)

【質問欄】

ワークブック1の 65ページ 第12章の 問題5の
4番で 何故 貸倒引当金が60,000なのかと
解らないのを教えて下さい。



第12章 売掛金・買掛金の記帳

【問題5】 次の連続する取引を仕訳しなさい。

- ① 第1期12月31日 決算にあたり、売掛金残高¥2,500,000に対して2%の貸し倒れを見積もった。
- ② 第2期5月20日 川崎商店が倒産し、同店に対する売掛金¥30,000が貸し倒れとなった。
- ③ “ 12月31日 決算にあたり、売掛金残高¥3,000,000に対して2%の貸し倒れを見積もった。差額補充法による。
- ④ 第3期7月10日 平塚商店が倒産し、同店に対する売掛金¥70,000が貸し倒れとなった。
5. 第4期3月25日 前期に倒産した平塚商店から、貸し倒れとして処理した売掛金のうち¥20,000を現金で回収した。

取崩し

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	貸倒引当金	50,000	貸倒引当金	50,000
2	貸倒引当金	30,000	売掛金	30,000
3	貸倒引当金	40,000	貸倒引当金	40,000
4	貸倒引当金	60,000	売掛金	70,000
	貸倒損失	10,000		
5				

第1回 添削問題

(住所) _____
 (氏名) _____ 様
 受講生番号 _____

添削講師名 _____
 採点欄
 59
 受付 _____
 返送 年 月 日

再提出願です

(09.05)

[質問欄]

・残高試算表で、本店・支店を合算しているから、
 分科別にも、理解が浅いかなと不安です。
 合算しやすい方法などはありますか。

	借方	本店	支店	貸方	本店	支店	
104,600	現金	39,760	24,760	買掛金	131,180	57,000	188,180
116,000	売掛金	90,000	26,000	貸倒引当金	1,700	400	2,100
50,400	繰越高価	33,600	16,800	減価償却累計額	14,400	5,400	19,800

↓ 借方 ↓ 貸方

上記の科目を対表で、いかに合わせるか。
 最終的に本・支店合算の対表が両端に合計し入れてから
 解のはいかに合わせるか。決算等の仕訳では本・支店別になっていますが
 上記の合算したものを加減して、財務諸表の作成も可能です

日商簿記検定講座2級コース
第2回添削問題

[住所] _____
[氏名] _____ 様
受講生番号 _____

添削講師名	_____	採点欄
受付	____年__月__日	100
返送	____年__月__日	

(09.05)

[質問欄]

<問題3について>

- ① 棚卸減耗品に原価性があるとはどういう意味ですか? → ポイント
- ② 商品評価損の低価法とは何ですか? 値引きをした時とどう違うのですか?
時価と原価と比べ低い方を用いる。 (購入時は売上減額、売上戻り時は売上増額)
- ③ 商品評価損とは古くなった商品や一般的に値打ちが下がった商品に使うのでしょうか。

正しい。

- ④ 備品の減価償却について 前期に
定率法は、すでに計上されている減価償却累計額を備品から引いて残りの金額の減価償却費を計算しては良いのですか。

- ⑤ 株式申込証拠金は増資の時だけでなく、創設の時も使

えですか?
資本剰余金や資本準備金は資本金とどう違うのですか?
また借方に移る事はあるですか? 欠付と関係あり。

公認会計士
不特定多数の人と対等に取引する。

は、正しい

思われる。

また日 監内②と関係あり。

日商簿記検定講座2級コース
第4回添削問題

(住所) _____
 (氏名) _____ 様
 受講生番号 _____

添削講師名	_____	採点欄
受付	年 月 日	96
返送	年 月 日	

おできま

(09.05)

[質問欄]

[問題3]で、ネットV。

・棚卸減耗費で、未送商品が55,000円。

支店帳簿棚卸高に追加した方がいいですか？

持高の内に棚卸減耗は発生していると考えた

・「棚卸減耗のうち、7,000円は本店の在庫に付いておくと

あります。そのうち、この7,000の内から、内部利益計算に

関係するかどうか、7,000円のうち、10,000円、内部利益を

減らす方がいいですか？

[問題5]で、損益計算書、
 7. 原価差戻金 - 1,000円を記入して

なす方がいいですか、記入しない方がいいですか？

誤解で同年の粗利益に、損益計算書の「原価差戻金」を

関係しない。損益計算書の「原価差戻金」を粗利益に

⇒ 特許収益の会計処理が正しい
 こと確認願います

このおっしゃる通り、持高は4,000円の内内部利益を計算しているが、
 本問では4,000円を内部利益として設定されているので、
 そのまま記入してください。

日商簿記検定講座 2級コース
第6回添削問題

[住所] _____
[氏名] _____ 様
受講生番号 _____

添削講師名 _____

採点欄

受付 _____ 日

返送 _____ 日

~~58~~ 70

~~再提出願~~ OKです (09.05)

[質問欄]

- ・前回の添削より、少々時間が空いてしまいました。
- ・問題3がよく判らず苦悩しています。解説よろしくお願ひします。

⇒ 時間が空いてけり、もとの力に戻りた大変だね
問題3の7をわけては、解法を同封いたす

添削レポートの解説 ありがとうございます。

解答上の注意点を読み、自分の間違いに気付きました。

問題4の様に記入もれがあったりともう少し注意深くがんばってほしいと
思いました。

再添削、よろしくお願ひします。

こしき子

また来てくれる箇所、再確認してあげたね
おねです

このお返事と保ちの - 添削前巻に記入

日商簿記検定講座 2級コース
第6回 添削問題

[住所] _____
[氏名] _____ 様
受講生番号 _____

添削講師名 _____	採点欄
受付 _____	90
返送 年 月 日	

_____ 様 こんばんは

お返しね

(09.05)

[質問欄]

あつかれ様でございます。

私は、何もかも解らないばかりなので、恥をいれたいものかも知れませんが、質問をさせて頂きます。

・製造間接費予算額 = 変動費率 × 操業度 + 固定費 の 操業度 とは何ですか？
また、直接費はなんで変動費なんですか？

・この添削問題の問題文の「これらの数量は実際製造数量に反対のものが」
解りません。間接費についてはむずかしく感じてしまいます。どうすればいいですか？

操業度について、
⇒ 実際消費と標準との比較のみならず
製造間接費の標準材と同じになります
機械操業時間 × 直接作業時間をいいます

たとえば機械操業時間の場合、10月に2,000時間標準を操業して
製品を作るというときの操業度は2,000時間といえます

直接費は主に材料、労務費に発生します。たとえば

材料は10月100円を消費したと11月100円を、50、100を消費したと11月
消費の金額は変動はしない、労務費も同じで時給1,000円、1時労働すると
1,000円です。5時間、10時間と労働時間が増えると同時に金額も増える
はしない、なので変動費といえます